

科目名	柔整総合Ⅲ					
分野	その他の分野	担当教員	井手 貴治, 田沼 順一			
開講時期	1学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30		2			
科目の概要	解剖学・生理学などの基礎医学の理解に必要な知識を講義する。(井手) 柔道整復師として、骨折・脱臼を治療することに加え、疾患に罹らないようにするためには、どのような日常生活を送ることが望ましいのかを予防医学的な視点から学んでいく。生活習慣の悪化が引き起こす生体への影響を健康科学的な視点からアプローチして、人体の不思議や疑問点を明らかにしていく。(田沼)					
学習の到達目標	解剖学・生理学などの基礎医学の理解に必要な知識の習得(井手) 将来、柔道整復師として社会に貢献する上で必要な健康増進への取り組みや、医療人に対する社会のニーズを読み取り、患者に的確な情報を伝える能力を修得する。(田沼)					
成績評価の方法と基準	期末試験(100%)(井手) 期末試験の結果をもって成績評価をする。(田沼)					
使用テキスト	講義資料を配布(井手) 適宜資料を配付する。(田沼)					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	医療を学ぶにあたって(井手)					
2	細胞の話①(細胞の構造)(井手)					
3	細胞の話②(細胞膜、膜輸送)(井手)					
4	細胞の話③(細胞内小器官①)(井手)					
5	細胞の話④(細胞内小器官②)(井手)					
6	細胞の話⑤蛋白質の合成(井手)					
7	細胞の話⑥(静止膜電位、活動電位)(井手)					
8	最新国家試験問題の傾向と解説(田沼)					
9	組織・解剖学の基本と疾患(田沼)					
10	重要な症候群と奇形(田沼)					
11	循環障害と疾患(田沼)					
12	炎症:漿液性炎・肉芽腫性炎(結核・梅毒・サルコイドーシス)(田沼)					
13	腫瘍(良性腫瘍・悪性腫瘍)の分類と解説(田沼)					
14	腫瘍の最新治療法(田沼)					
15	総合評価(まとめ)					

(2024年度)